

Tissue Pretreatment Kit

FFPEサンプルのFISH/CISH用に開発された前処理キットです。
細胞核内へのプローブの浸透性を高め、高いシグナル輝度を得られます。

製品名	内容	製品番号	希望小売価格（税別）
Tissue Pretreatment Kit	Reagent 1 (1x1L)	RU-LPS100	¥54,000
	Reagent 2 (1x10mL)	50-80枚のスライドを処理できます。	

-  **Ready- to- Use:** 2種類の試薬はそのまま使えます。
 ➡ 調製済みの試薬でアッセイ時間の短縮を！
-  **Easy- of- Use:** 簡単な2ステッププロトコルです。
 ➡ シンプルなプロトコルで安定した結果がえられます！

試薬の調製

不要

酸処理

不要

熱処理

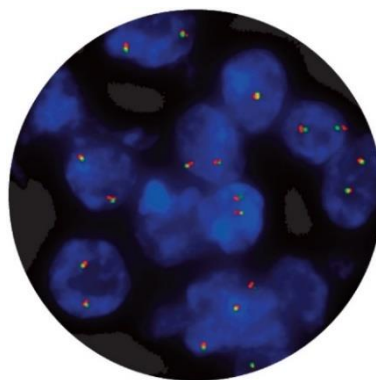
36 分

酵素(ペプシン)処理

24 分

TOTAL: 60 分

標本の脱パラフィン操作以降の所要時間(目安)です。



ALK Breakapart
Microscope Images



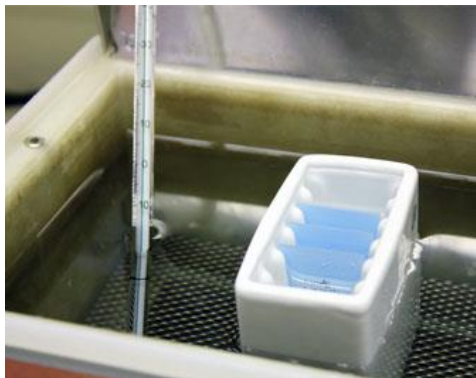
Tissue Pretreatment Kit

簡単！ 2-Step プロトコール

2-Step プロトコールは、標本の脱パラフィン操作以降のプロトコールです。
脱パラフィン操作は事前に実施して頂く必要があります。

Step1

Pretreatment reagent (Reagent 1) に浸漬する



★ 試薬の調製不要！ そのまま使用できます。

- ・Pretreatment reagent は、あらかじめ98-100℃に加熱してください。
- ・浸漬時間：98-100℃、30分*
- ・洗浄：室温、蒸留水で 2分 x 3回

Step2

Enzyme reagent (Reagent 2) を滴下する

★ 酵素液の調製不要！ そのまま使用できます。

- ・Enzyme reagent を組織切片を覆うように滴下します。
- ・反応時間：37℃、10分*
- ・洗浄：室温、蒸留水で 3分 x 2回
- ・脱水：室温、70%, 85%, 100%, 100%エタノールでそれぞれ 2分



* 各ステップの反応時間は組織のタイプ、固定状態によって最適化が必要になる場合がございます。



お問い合わせ

株式会社理研ジェネシス

営業部

Tel:03-5759-6042

info2@rikengenesys.jp

本製品は、研究用試薬です。